

つなみ逃げろーどサポーター 活動マニュアル



みんなのいのちはみんなで守る

つなみ逃げろーど
サポーターについて
確認する☞



目次

はじめに	-----	1
点検マニュアル	-----	2
避難訓練実施のポイント	-----	5
様式集	-----	8
付録	-----	14



こみきやん



愛媛県イメージアップキャラクターみきやん



ダークみきやん

<発行> 令和5年6月初版

<作成> 愛媛県県民環境部防災局防災危機管理課

〒790-8570

松山市一番町四丁目4番地2

TEL : 089-912-2335 FAX : 089-941-2160

E-Mail : bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp



■津波から命を守るために

津波による人的被害
約4,000人（※）

被害軽減を目指す

（※）宇和海沿岸5市町の合計
出典：平成25年 愛媛県地震被害想定調査

津波から確実に命を守る方法は、「迅速に安全な場所へ逃げる」ことに尽きます。

しかし、避難路や一時避難場所は、私有地や公有地、土地上の建造物など様々な用途で利用されている中で、いざという時に使用できる状態にしておく必要性の認識が薄れ、除草などの環境保全が行き届かなくなりがちです。

本制度は、地域において避難路・一時避難場所を再確認し、災害時に安全に使用できるよう清掃などの保全活動に取り組むとともに、自主防災組織等による避難訓練での利用を進めるために創設したものです。地域の皆さんが日頃から意識する機会を増やして、津波発生時の迅速な避難行動に繋がっていきましょう。

■サポーターの活動例

環境保全 ・草刈りや除草などの清掃、美化	点検 ・照明や舗装の状態、危険箇所など
避難訓練の実施 ・つなみ逃げろーどを活用した訓練	避難意識向上 ・みんなの命を守る取組

住民参加を呼びかけ、一つひとつ取り組みを進めよう！

■期待される効果

課題の発見・解決	避難意識の向上	避難の実効性向上
----------	---------	----------

■活動フロー

点検シート及び活動実績（計画）の報告をお願いします。

毎年実施

サポーター登録

点検

避難訓練

自主防災組織等

申請

通知

支援

報告

支援

報告

市町防災担当課



■ 点検マニュアルの活用

マニュアルを活用することで、避難路等の安全性や、訓練にあたって整備すべき環境や設備について確認することができます。

<効果>

- チェックする項目や基準が統一されることで、地域による安全度の差が無くなる。
- 点検マニュアルに基づいた点検や訓練を行うことで、活動の記録が残る。
- 過去の記録を確認することで、活動の充実や安全性向上の実感が湧き、モチベーション向上に繋がる。

■ 準備物について

- 避難場所周辺地図（縮尺 1:2,500~1:1,000程度、A2~A4サイズ程度）
- カメラ 筆記用具（地図へ記載用） 巻尺（メジャー） ※避難場所の広さや水路の深さを計測
- 点検シート（様式5） 津波防災マップ（津波災害警戒区域図等）

■ 点検項目について

◆ 一時避難場所 ◆

項目	解説
1 収容可能人数（人）	○ 収容可能な人数は何名か。
2 想定避難者数（人）	○ 当該避難場所への最大想定避難者数は何名か。
3 収容可能・想定の妥当性	○ 項目1と2の人数を比較し、避難場所として妥当か判断する。
4 避難場所の標高（m）	○ 津波浸水深以上であるか。
5 防災倉庫の有無	○ 使用可能な防災倉庫はあるか。
6 備蓄物資有無（期限）	○ 防災倉庫内の備蓄物資の期限管理はできているか。
7 夜間照明（非常用電灯）	○ 電力停止の場合も含め、夜間照明はあるか。
8 風雨をしのぐ施設があるか	○ 冬季や悪天候の場合に備え、風雨をしのぐ施設等があるか。
9 トイレ有無	○ トイレがあるか、また仮設トイレを設置する場所はあるか。
10 草刈り等の維持管理	○ 除草等が不十分で立入れない場所はないか。ケガに繋がらないか。

◆ 避難路 ◆

項目	解説
1 危険なブロック塀	○ 傾きやひび割れ、ぐらつきが無いかな。
2 危険な水路	○ 日中・夜間において転落のおそれが無いかな。
3 急傾斜地	○ 足腰が弱い避難者が支援者の手助けにより安全かつ迅速な避難が可能な状態か。
4 夜間誘導灯等	○ 路肩等の把握が懐中電灯だけでは困難、夜間の転倒可能性など。
5 道路の状態	○ 路面状態が安全な避難の妨げにならないか。（雨天時の地盤の緩みやすさ等）
6 老木・草木等の支障物	○ 倒木による閉塞や雑草の繁茂が避難の妨げになっていないか。
7 閉塞した場合の他経路	○ 住家やブロック塀などの倒壊により路線が閉塞した場合の迂回路はあるか。

点検マニュアル



■点検シート記載例（様式5）

※別紙付票に施設の全景、整備済施設及び危険箇所の状況写真等を添付してください。

一時避難場所名	○○津波避難場所	サポーター名	■■自主防災組織
避難路名	<ul style="list-style-type: none"> ・○○津波避難路① ・○○津波避難路② ・○○津波避難路③ 	点検責任者	愛媛 県太郎
		実施日	令和●年●月●日

[点検チェック項目]

■一時避難場所

問題の有無を確認してください。

No.	確認項目	○ ×	結果	対策検討
1	収容可能人数（人）	○	（100）人	
2	想定避難者数（人）	○	（70）人	
3	収容可能・想定の妥当性	○		
4	避難場所の標高（m）	○	（30）m	
5	防災倉庫の有無	×	有・無	整備の必要有
6	備蓄物資有無（期限）	×	有・無	防寒具・非常用電源を優先
7	夜間照明（非常用電灯）	○	有・無	
8	風雨をしのぐ施設があるか	×	有・無	テント備蓄の必要有
9	トイレ有無	×	有・無	使い捨てトイレ備蓄の必要有
10	草刈り等の維持管理	○		

■避難路

問題の有無を確認してください。

No.	確認項目	○ ×	問題箇所	対策検討
1	危険なブロック塀	○	（0）箇所	
2	危険な水路	○	（0）箇所	
3	急傾斜地	○	（0）箇所	
4	夜間誘導灯等	×	（1）箇所	路線途中に足元が見えない箇所(5m程)
5	道路の状態	○	（0）箇所	
6	老木・草木等の支障物	×	（4）箇所	草木が茂り滑る箇所有
7	閉塞した場合の他経路	×	（0）箇所	地域で要検討

■問題点の詳細について

昼間の避難には支障ないが、防災倉庫がなく、避難後の滞在には不安がある。数箇所夜間の避難上で危険な部分があり、草木の除去及び可能であれば照明・反射板等の設置が望ましい。

注）別紙付票に施設の全景、整備済施設及び危険箇所の状況写真等を添付してください。



■点検シート記載例（付票）



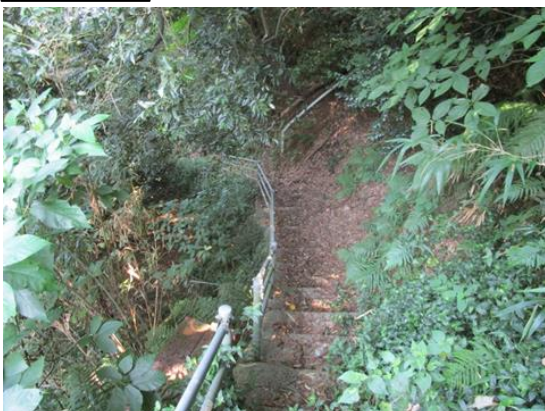
写真①



写真②



写真③



写真④



注) 施設の全景、整備済施設及び危険箇所の状況写真等を添付してください。



■ 避難訓練を継続して行うことが一番重要

いざという時、迅速な避難を行うためには、日頃からの避難訓練が欠かせません。定期的に訓練を行い、明らかとなった課題の解決に向けて、個人・地域、そして行政が取組みを継続することにより、確実な避難を目指します。

<ポイント>

計画

- 地域住民が主体となり、地域の津波避難に関する計画を検討・見直し

実践

- 作成した計画をもとに、実際に避難訓練を行う

課題抽出 対策検討

- 自助（個人）：室内の安全対策、靴・懐中電灯を枕元に常備など
- 共助（地域）：避難訓練実施を通じた課題の抽出
- 公助（行政）：つなみ逃げろーど制度、夜間津波避難対策補助事業など

対策

- 抽出された課題への対策を実施する
- 夜間や雨天など、悪条件を想定した避難訓練も行う

見直し 改善

- 課題の整理、対策の検討・実践を繰り返す
- 地域の事業所・学校等と連携して活動の幅を広げる

さらに実践を重ねる！

避難訓練実施のポイント



■ 避難計画作成時の確認項目

項目	必要な内容	解説
住民の参画	1 津波避難の計画は住民の参画により作成されたか	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定に住民が参画することは、<u>避難放棄者</u>（あきらめ、油断、おまかせ）をできるだけ減らす観点からも有効である。<u>幅広い年齢層の参加</u>や、<u>参加者数の増加に繋がる工夫</u>がなされているか。参加者が少ない場合は、地域の実情等を踏まえて、様々な自主防災組織の取組事例の紹介等によって津波避難意識の向上につなげる必要がある。
	2 計画は住民に配布されているか	
	3 作成した計画に基づく避難訓練を実施しているか	
計画の確認	4 避難対象地域の人口が把握されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地や商工業地域等の地域特性を踏まえて、<u>夜間人口</u>、<u>昼間人口</u>等の<u>最大値</u>が把握されているか。
	5 揺れによる被災状況が想定されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の被災状況が想定されているか。被災により避難困難となるおそれがある場合は、課題点等として記載されているか、対策が検討されているか。
	6 地域における津波浸水の特性が把握されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の遡上方向、河川への津波遡上、台風等による高波被害を受けやすい場所など、地域の津波特性を把握しているか。伝播する津波の方向や挙動を表したアニメーション等の活用も有効である。（愛媛県HP「えひめの防災ポータル」で確認できます）
	7 津波浸水予測時間までに、避難場所に到達することができるか	<ul style="list-style-type: none"> ・各ステップで<u>避難困難地域</u>が発生する場合は、その対策の方向性についてアドバイスをを行う。
	8 津波避難場所の広さは、想定人数に対して十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の津波避難場所のチェックの他、周辺地域を含めて<u>住民の集中による避難困難</u>が発生することがないか等について、広域的な視点でのチェックも併せて行う。
	9 津波避難場所・避難経路の安全性が検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・津波避難場所周辺の<u>危険箇所</u>（急傾斜地、ため池等）と対策工事の有無や、<u>避難経路の危険箇所</u>（ブロック塀、古い建物、耐震未対策の橋梁等）が把握され、対策が検討されているか。
	10 津波避難場所での避難環境（トイレ、風雨等）について検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・津波警報が継続（6～24時間程度）、津波警報解除後も津波避難場所から直ちに移動することが困難な場合も想定される。<u>長時間</u>、<u>夜間</u>、<u>寒冷時</u>等を想定した備えが検討されているか。
	11 避難誘導、標識や声掛けの仕組みなどが検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外からの滞在者等の<u>地理に不慣れな避難者</u>が、自力で避難できるような<u>避難誘導看板等の設置</u>等が検討されているか。
	12 避難行動要支援者の支援が検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に基づく市町の取組が行われているが、<u>名簿を活用した避難支援</u>や<u>安否確認</u>には課題があり、十分浸透していないことが考えられる。
	13 夜間に避難するための対策が検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>夜間の避難速度を向上</u>するための<u>照明</u>、<u>誘導灯</u>の設置、<u>懐中電灯</u>の備え等の対策が検討されているか。
	14 情報伝達方法について検討されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・最大クラスの地震発生時には、<u>広報車</u>等による周知は困難と考えられ、<u>防災行政無線</u>の確実性等について検討されているか。
	15 継続的な避難訓練から抽出された課題を改善していく仕組みがあるか	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>避難訓練の継続</u>と地域の課題解決に繋がる実践的な訓練内容や<u>関係機関への働きかけ</u>等について具体的に記載されているか。

避難訓練実施のポイント



■ 避難計画の確認例

自主防災組織名	■■ 自主防災組織	計画作成日	令和●年●月●日
点検者	愛媛 県太郎	実施日	令和●年●月●日

項目	必要な内容	チェック	コメント等
住民の参画	1 津波避難の計画は住民の参画により作成されたか	○	ワークショップ1回 48名参加 (高年齢層の参加者が多い結果となった)
	2 計画は住民に配布されているか	×	公民館へ配置のみ。
	3 作成した計画に基づく避難訓練を実施しているか	×	今後実施予定
計画の確認	4 避難対象地域の人口が把握されているか	○	計画地域全体、自主防災組織単位で把握
	5 揺れによる被災状況が想定されているか	○	がけ崩れ、ブロック塀、家屋倒壊、火災、これらによる道路閉塞等を想定している。
	6 地域における津波浸水の特性が把握されているか	○	津波浸水想定図・予測時間（平成25年愛媛県地震被害想定調査）から把握した。
	7 津波浸水予測時間までに、避難場所に到達することができるか	×	避難困難地域が無いか確認する必要がある。
	8 津波避難場所の広さは、想定人数に対して十分か	○	別紙 点検シートで確認済み
	9 津波避難場所・避難経路の安全性が検討されているか	○	建物・ブロック塀の耐震対策を実施済み
	10 津波避難場所での避難環境（トイレ、風雨等）について検討されているか	検討中	具体策を検討する。
	11 避難誘導、標識や声掛けの仕組みなどが検討されているか	検討中	標識不足、追加設置が必要
	12 避難行動要支援者の支援が検討されているか	検討中	具体策を検討する。
	13 夜間に避難するための対策が検討されているか	検討中	照明等不足、ソーラー照明の整備等を検討する。
	14 情報伝達方法について検討されているか	○	防災行政無線、広報車、自主防災組織との連携等
	15 継続的な避難訓練から抽出された課題を改善していく仕組みがあるか	○	振り返りの時間を設け、次回の改善に役立てる。



様式集

適宜コピーして使用してください。

様式の電子データは、えひめ防災ポータル「つなみ逃げろーど制度（宇和海沿岸市町対象）」のページに掲載しています。

P11：点検シート（様式5）

P12：点検シート（付票）

P13：活動計画・実績報告書（様式6）

P14：活動計画・実績報告書__記載例

P15：津波避難計画の確認項目【図上点検編】

【URL】 <https://www.pref.ehime.jp/h15350/bosai-portal/preparation/regional/tsunaminigeroad.html>

【QRコード】



点検シート

一時避難場所名		サポーター名	
避難路名	・ ・ ・	点検責任者	
		実施日	

[点検チェック項目]

■一時避難場所

問題の有無を確認してください。

No.	確認項目	○ ×	結果	対策検討
1	収容可能人数 (人)		() 人	
2	想定避難者数 (人)		() 人	
3	収容可能・想定 of 妥当性			
4	避難場所の標高 (m)		() m	
5	防災倉庫の有無		有・無	
6	備蓄物資有無 (期限)		有・無	
7	夜間照明 (非常用電灯)		有・無	
8	風雨をしのぐ施設があるか		有・無	
9	トイレ有無		有・無	
10	草刈り等の維持管理			

■避難路

問題の有無を確認してください。

No.	確認項目	○ ×	問題箇所	対策検討
1	危険なブロック塀		() 箇所	
2	危険な水路		() 箇所	
3	急傾斜地		() 箇所	
4	夜間誘導灯等		() 箇所	
5	道路の状態		() 箇所	
6	老木・草木等の支障物		() 箇所	
7	閉塞した場合の他経路		() 箇所	

■問題点の詳細について

注) 別紙付票に施設の全景、整備済施設及び危険箇所の状況写真等を添付してください。

点検シート（付票）

注）施設の全景、整備済施設及び危険箇所の状況写真等を添付してください。

令和5年度 活動計画・実績報告書

一時避難場所名	
サポーター名	

(年 月 日 現在)

[活動計画・実績]

No.	状況	年月日	区分	参加者数	内容
①	実績/計画		清掃/訓練/その他		
②	実績/計画		清掃/訓練/その他		
③	実績/計画		清掃/訓練/その他		
④	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑤	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑥	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑦	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑧	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑨	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑩	実績/計画		清掃/訓練/その他		

注1) 記載時点における令和5年度の活動計画（又は実績）を記載してください。

注2) 記載欄が不足した場合は、適宜、行を追加してください。

令和5年度 活動計画・実績報告書

一時避難場所名	〇〇津波避難場所
サポーター名	■■自主防災組織

(令和●●年●●月●●日 現在)

[活動計画・実績]

No.	状況	年月日	区分	参加者数	内容
①	実績/計画	RO.O.O	清掃/訓練/その他	10	清掃・除草作業
②	実績/計画	RO.O.O	清掃/訓練/その他	20	除草作業
③	実績/計画	RO.O.O	清掃/訓練/その他	50	10時より津波避難訓練開始予定 (市危機管理課協力予定)
④	実績/計画	RO.O	清掃/訓練/その他	5	訓練結果を踏まえた夜間設備の検 討(役員のみで実施予定)
⑤	実績/計画	RO.O	清掃/訓練/その他	10	清掃・除草作業
⑥	実績/計画	RO.O	清掃/訓練/その他	10	清掃・除草作業
⑦	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑧	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑨	実績/計画		清掃/訓練/その他		
⑩	実績/計画		清掃/訓練/その他		

注1) 記載時点における令和5年度の活動計画(又は実績)を記載してください。

注2) 記載欄が不足した場合は、適宜、行を追加してください。

■津波避難計画の確認項目【図上点検編】

自主防災組織名	計画作成日
点検者	実施日

項目	必要な内容	チェック	コメント等
住民の参画	1 津波避難の計画は住民の参画により作成されたか		
	2 計画は住民に配布されているか		
	3 作成した計画に基づく避難訓練を実施しているか		
計画の確認	4 避難対象地域の人口が把握されているか		
	5 揺れによる被災状況が想定されているか		
	6 地域における津波浸水の特性が把握されているか		
	7 津波浸水予測時間までに、避難場所に到達することができるか		
	8 津波避難場所の広さは、想定人数に対して十分か		
	9 津波避難場所・避難経路の安全性が検討されているか		
	10 津波避難場所での避難環境（トイレ、風雨等）について検討されているか		
	11 避難誘導、標識や声掛けの仕組みなどが検討されているか		
	12 避難行動要支援者の支援が検討されているか		
	13 夜間に避難するための対策が検討されているか		
	14 情報伝達方法について検討されているか		
	15 継続的な避難訓練から抽出された課題を改善していく仕組みがあるか		



付録

付録

■ 自分自身の津波避難チェックシート

私は津波から逃げ切れるだろうか

回答

お住まいの地域で想定される地震・津波を知っていますか？	YES	NO	×モ
Q1 想定震度を知っていますか。			
Q2 津波浸水予測時間を知っていますか。			
Q3 津波による想定浸水域、浸水深を知っていますか。			
地震が襲ってきた場面を想像してください。			
Q4 緊急地震速報のブザー音が鳴りました。次の行動を考えていますか。			
Q5 震度 6 以上の強い揺れを体験したことがありますか。			
その揺れが 3 分続くとしたら・・・			
Q6 自宅の耐震性は十分ですか。			
Q7 家具の転倒、窓ガラスの飛散など室内の対策を行っていますか。			
強い揺れがおさまった。立ち上がることはできますが、家財等が散乱。			
Q8 非常用持出品は準備していますか。			
Q9 くつを履くことができますか。			
Q10 ドアが開きません。脱出する方法はありますか。			
少しでも早く、できるだけ高いところへ逃げましょう。			
Q11 複数の目標地点（一時避難場所等）が頭に浮かびますか。			
Q12 家にいるときや職場にいるときも想定して一時避難場所と経路は決めていますか。			
Q13 自分たちが決めた一時避難場所の現地を確認したことはありますか。			
Q14 周りの人がまだ避難していなくても、率先して避難することができますか。			
Q15 経路が閉塞してる場合、迂回路の検討もしていますか。			
津波避難場所にたどり着くことができました。			
Q16 津波避難場所では長時間にわたって滞在する備えはありますか。 (水分・食料の確保、風雨・暑さ・寒さ対策)			
Q17 家族との安否確認方法は決めていますか。			
Q18 想定されている津波浸水予測時間より早く避難することは可能ですか。			
津波から確実に命を守るためには、一人ひとりが避難を真剣に考え、行動することが必要です。			

■ 避難にかかる時間



- 順調に避難できたら
- 最悪の場合

揺れ継続時間	家を出るまで	避難場所まで	合計
3 分	分	分	分
3 分	分	分	分